

世界アルツハイマーデーに合わせて認知症の理解を深めるため 「RUN伴 2019 in 春日井」を初めて開催

1 事業の目的

我が国では、現在、認知症の人は500万人を超え、65歳以上高齢者の約7人に1人が認知症と見込まれています。春日井市でも2025年には約1万人が認知症になると推計されています。

9月21日の世界アルツハイマーデーに合わせて、認知症に関する普及・啓発イベントを開催し、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症の人や家族を温かく見守る、人に優しい地域づくりを進めます。

2 事業の内容



(1) 「RUN伴」とは

RUN伴(ランとも)とは、今まで認知症の人と接点が少なかった地域住民と、認知症の人や家族、医療福祉関係者が一緒にタスキをつなぎ、ゴールを目指す全国的なイベントです。

認知症の人と出会うきっかけがなかったがために、マイナスイメージを持ってしまいがちな地域の人々との出会いの場をつくり、顔の見えるつながりを生むことで認知症の人も地域で「伴」に暮らす大切な隣人であることを実感できます。

(2) 医療福祉関係者の有志の実行委員会が創る「RUN伴 in 春日井」

市内の医療福祉関係者の有志が「RUN伴 2019 in 春日井実行委員会」を立ち上げ、ランナー募集や事業所の協賛など、地域みんなの力を結集し、開催します。

ランニングは、東コース、西コース、南コースの3つの場所から認知症の人のいる施設などを経由し、ゴールとなる落合公園を目指します。

(3) 「みまもりあいプロジェクト」の普及啓発～認知症高齢者の搜索訓練も実施

ゴールとなる落合公園では、認知症高齢者が行方不明となった場合の搜索システムとして、市が今年度から採用するスマートフォンのアプリ「みまもりあい」を活用し、認知症高齢者の搜索を模擬的に体験することができます。

3 開催日時及び場所

令和元年(2019年)9月21日(土)午前9時～午後1時(スタートは各コースにより異なる)

(スタート) 東コース: どんぐりの家、西コース: 第2グレイスフル春日井

南コース: 第2春緑苑 (ゴール) 落合公園

4 予算

783千円 市内の個人や事業者98件の協賛金で運用

担当課 健康福祉部地域福祉課